


所在地:	福島県本宮市仁井田字一里壇77番地				
敷地面積:	41655m <sup>2</sup>	延床面積:	14589m <sup>2</sup>		
設立:	1986年4月	従業員数:	141名		
ISO14001取得:	1997年11月	ISO14001最新更新:	2006年11月		
主要製品:	ハイブリッドIC、DC/DCコンバータ、AC/DCコンバータ、電流センサ、光伝送部品				
環境コミュニケーション:	08年度				
情報開示:	3件	工場見学:	60名	地域貢献活動:	4件
問合せ:	デバイス技術グループ 集積回路技術チーム 環境管理		TEL:	0243-33-5111	

## ごあいさつ

当サイトは、福島県の奥羽山脈と阿武隈山系の間に位置する「中通り」の中央部にあり、南部の那須連峰から北部宮城県に向かって流れる阿武隈川と、猪苗代湖の清流を源流とする五百川が交わる水豊かな自然環境に恵まれた地域です。

1986年から1989年にかけてハイブリッドIC専門工場として大阪・門真地区から順次事業移転を行い、以来、家電/自動車/通信/情報制御分野でお客様に満足いただける部品づくりをしてきました。

パナソニックグループの一員として環境の取組みを推進し、工場全従業員一丸となって、省資源化・省エネ化・廃棄物及び環境荷物質の削減に取組み、環境効率の良い製品作りを進めています。



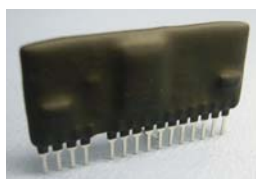
環境管理責任者

平野人司

## 2008年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
省エネルギーの推進 CO2排出量の削減推進	高効率設備への更新、省エネ委員会によるパトロール・啓蒙活動等により、省エネ(CO2排出量の削減)目標を達成しました。
廃棄物のリサイクル率向上	廃棄物量の削減や電子化の推進等により、廃棄物発生量を削減し、リサイクル率99.5%の目標を達成しました。
化学物質の排出・移動量削減の推進	設備・作業改善等を実施し、化学物質の排出・移動量の削減目標を達成しました。

## 製品・環境配慮ポイントの紹介



### DC/DCコンバータ

#### □製品の特徴・環境配慮ポイント

他出力対応、小型化、軽量化、高効率化を実現した製品です。  
短絡保護機能、ON/OFF機能を内蔵した製品です。  
RoHS規制に適合した製品です。  
地球環境にやさしい製品設計・物づくりを目指します。

#### □用途

薄型TV、事務機器、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、デジタルスチルカメラ等の電源



### AC/DCコンバータ

#### □製品の特徴・環境配慮ポイント

スイッチング方式の採用により、小型化、軽量化、高効率化を実現した製品です。  
過電流保護機能、ヒューズ機能を搭載し、発煙発火対策した製品です。  
RoHS規制に適合した製品です。  
地球環境にやさしい製品設計・物づくりを目指します。

#### □用途

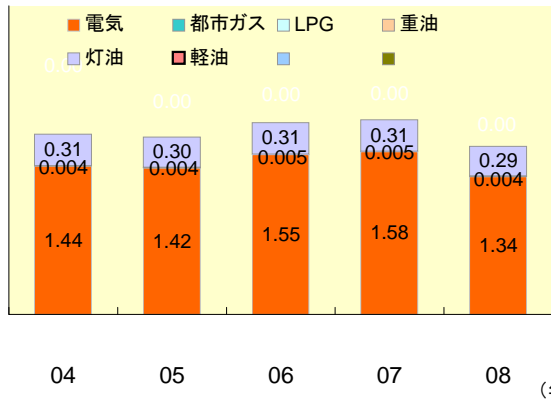
家電製品のマイコン、LED、ファンモータ、ブザー、リレー、トライアック等の電源

環境パフォーマンスデータ

グラフ表示年 08:2008年4月1日～2009年3月31日

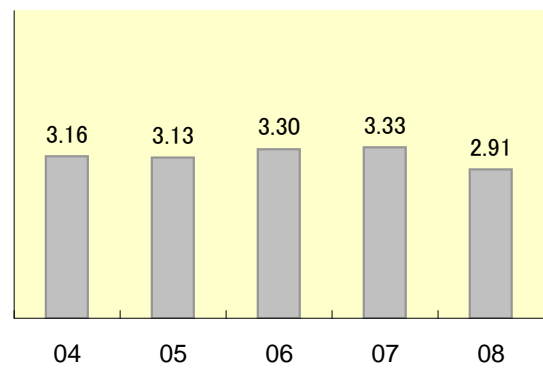
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t



自然エネルギー使用量

08年度

(年度)



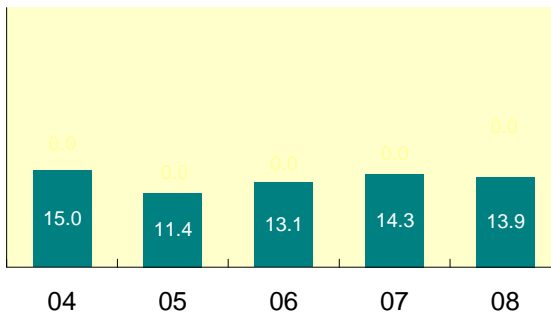
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出原単位」を使用して計算。但し、2006年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量

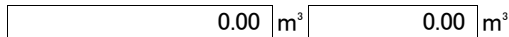
単位:千m<sup>3</sup>

■ 上水道 ■ 工業用水 ■ 河川・湖水 ■ 地下水



循環的使用量

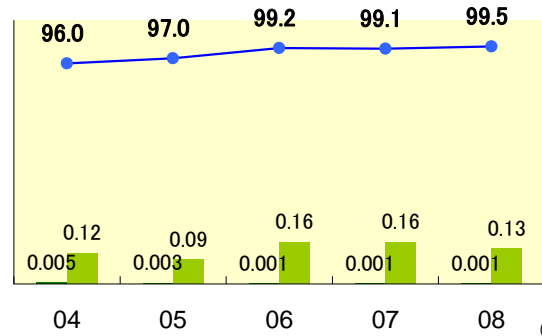
雨水使用量 08年度



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%

■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率

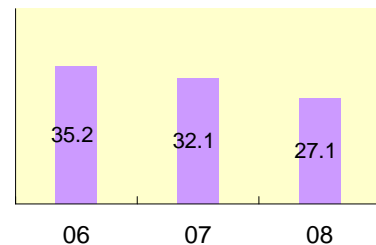
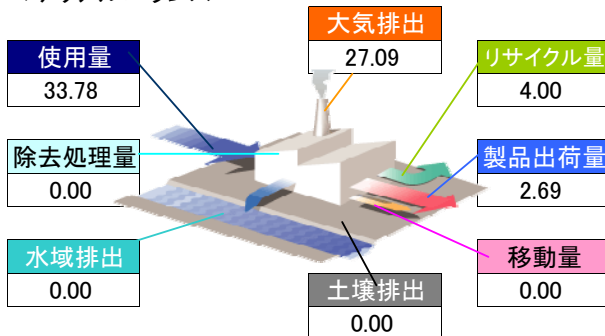


化学物質

マテリアルバランス

08年度

重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

[http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical\\_substance/](http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/)

環境パフォーマンスデータの特記事項

エネルギー使用量、CO2排出量、水の使用量、産業廃棄物・有価発生物、重点削減物質の排出・移動量について、前年度より削減すること出来ました。

環境法令等の順法状況 08年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm <sup>3</sup> /h	冷温水発生機 R-1	6.15	3.70	0.05未満	0.05未満	2回/年
		冷温水発生機 R-2	6.35	3.80	0.05未満	0.05未満	2回/年
NOx	ppm	冷温水発生機 R-1	180	108	56.0	63.0	2回/年
		冷温水発生機 R-2	180	108	64.5	68.0	2回/年
ばいじん	g/Nm <sup>3</sup>	冷温水発生機 R-1	0.30	0.18	0.002未満	0.002未満	2回/年
		冷温水発生機 R-2	0.30	0.18	0.002未満	0.002未満	2回/年

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	最終放流口	20	12	1.8	1.8	1回/年
BOD	mg/l	最終放流口	20	16	6.5	13	1回/月
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	N/A					

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	60	58	49	53	1回/年
		夜 敷地境界	50	48	45	47	1回/年
振動	dB	昼 敷地境界	65	63	25以下	25以下	1回/年
		夜 敷地境界	60	58	25以下	25以下	1回/年

法令規制値：法または条例および協定の規制する値

N/A：法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

法令規制値超過などはありません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

## 環境方針

パナソニック エレクトロニックデバイス株式会社 電源ビジネスユニット 集積回路事業グループ（本宮工場）は、産業、民生、自動車等に使用されるハイブリッドICの開発・設計から生産・販売まで一貫した電子部品の専門メーカーとして、持続的発展と循環型社会の形成のため、法及びカスタマとその他の要求事項を順守するとともに、汚染の予防と継続的な改善に努め、パナソニックグループ「環境ビジョン」、その具体的な環境行動計画である「グリーンプラン」を基に環境活動に取り組み、「地球環境との共存」に貢献します。

## [重点実施項目]

1. グリーンプロダクツ製品の開発推進
  - ・製品の開発設計段階から、グリーン調達を推進するとともに、資源の有効活用と環境負荷物質の削減に努めたグリーンプロダクツ製品の開発に取り組みます。
2. クリーンファクトリーの推進
  - ・工場のエネルギー使用効率化に努め、CO<sub>2</sub>削減に取り組みます。
  - ・廃棄物の削減、再資源化に努め、ゼロエミッションを推進します。
  - ・ものづくりの改善により、有害化学物質の削減に努めます。
3. 環境リスクマネジメントの推進
  - ・大気、水質や土壌・地下水等の環境汚染防止に努めます。
  - ・利害関係者とのコミュニケーションを円滑にするとともに、カスタマからの要請に対して組織的に対応し、適確に環境リスクの低減を推進します。

上記環境方針を達成するために、具体的な目的・目標を設定し、全組織、全従業員及び組織に働く又は組織のために働く全ての人に、周知するとともに、社会情勢や事業活動の変化、利害関係者の要求・上位組織の方針変更等にあわせて、その適合性について見直しを行います。

尚、この方針は一般に公開するとともに、集積回路事業グループ（本宮工場）の活動、製品及びサービスに適用します。

パナソニック エレクトロニックデバイス株式会社  
電源ビジネスユニット  
集積回路事業グループ（本宮工場）  
工場長 平野 人司

### 環境負荷削減の取り組み事例



#### 高効率照明への更新

省エネ活動取り組みの一つとして、1灯で2灯分の明るさが得られる高効率照明(Wエコ機種)への更新を行っています。

### 環境コミュニケーション事例



#### 工場周辺のクリーン活動

環境活動の一環として、6月の環境月間に従業員による工場周辺のクリーン活動(ごみ拾い清掃活動)を実施し、環境美化に努めています。



#### 職場体験

7月に地元中学生による当工場の電子部品の開発から物づくりまでの一日職場体験学習をして頂きました。

#### 工場見学

9月に従業員のご家族にも参加頂き、いも煮会を実施致しました。いも煮を作る間に、ご家族の皆さんには工場見学もして頂きました。



### 緊急事態への準備と対応

#### 考え方と訓練計画

工場外に環境被害を及ぼす可能性のある緊急事態を明確にし、緊急事態対応訓練を実施しています。



#### 緊急事態対応訓練

危険物倉庫から溶剤等の液体が、万一流出した場合を想定し、オイルマットでの吸着や土嚢による雨水口への流出防止訓練を実施し、万全を期しています。